

私に何ができるか？ 私は単なる運転員なのだけれど！

2012年 9月

作業員から良く聞くコメントは、“私達のプロセスの安全性を改善するために私に何が出来るでしょうか？ 私は単なる運転員(あるいはテクニシャンあるいは機械工、など)なのです。私はただバルブを操作し、装置を運転し、サンプルを採取し、レンチを回し、装置の調整をしているだけです。”というものである。運転員や保全員は化学作用そのものを変えることや装置を再設計すること、あるいは、建設材料を変えることは出来ないのは、事実である。しかしながら、彼らはプロセスを一番良く見ている。彼らはプロセスがどう挙動するか、装置がどう故障するか、どんな条件下でプロセスが最も良く動くかを知っている。

ヨギ・ベラは野球選手であるが、彼は“注意深く見るだけで多くのことに気付く”と言った。それはプロセス安全の真髄でもある！ しっかり見聞きすることで多くのことを学ぶことができる。いつもと違う音は差し迫った設備の問題を示しているかもしれない。床や配管上の汚れや濡れた痕跡は僅かな洩れのあることを告げているのかもしれない。私達は皆、装置の問題や漏れは、そのままでは直すことはないことを知っている。見たことを報告するか、修理依頼を書くか、あるいは上司に申し出るかしなさい。

写真はあなた方がプラントで見かけることがありそうな問題の例を示している。



この錆びたバルブの開閉が出来る？

このモーターについた埃は火災、場合によっては粉塵爆発災害の原因になりうる。



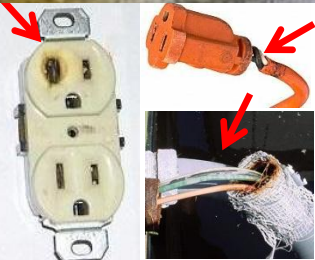
錆びて、漏れている配管！



このフランジから何か漏れているのでは？



フランジのボルトがなくなっている。



← 電気器具や配線の問題を探すこと。

あなたにできることは？

- 自分のプロセスや装置を理解すること。それがどう動くかとされているか、正しく動いていない時はどう見分けられるかを知ること。
- 異音、異臭、液の滴り、洩れ、振動に注意を払うこと。もし、何かが正常でない様に思えたら、しかるべき人にそれを伝えること！
- 正確に検査用紙に記入すること。ある問題が、複数月にわたって検査用紙に記載されたとしても、それが再度指摘されていることを確認し、どんなに長い間、その問題が続いているのかを、上司に指摘すること。
- 速やかに安全に関する懸念を報告すること。一例えば、保護装置・ボルト・パイプハンガーの欠落は深刻な傷害を引き起こしたり、あるいは、傷害や漏洩や火災、更には重大な惨事にさえ繋がりがかねない。
- チームの会合や安全会議を利用して、安全への関心を高めること。また、他の人から懸念の声が上がったときはその声に耳を傾けること。
- 自分の役割を果たすこと。例えば、運転操作手順や変更提案の再検討を求められたときは、自分の命がそれに懸っているくらいの気持を持って当たること。現実にそうなるかもしれないのだから！

プロセス安全は全ての人にかかっている！

AIChE © 2012. 不許複製。非営利的な教育目的のための複写は奨励する。但し、再販目的のための複写は、CCPS以外のいかなる者に対して禁止する。コンタクト先: ccps_beacon@aiiche.org 又は 1- 646-495-1371

Beacon は通常、アラブ、アフリカ、中、デンマーク、オランダ、英、仏、独、ギリシャ、グジャラート、ヘブライ、伊、日、韓、マレー、マラーティー、ノルウェー、ベルシャ、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、露、スペイン、スウェーデン、テルグ、タイ、ベトナムの各言語で入手可能。